東京オリンピック・パラリンピック競技大会中の

公認プログラム
街づくり

スムーズな交通輸送にご協力をお願いします！

2020年の夏、オリンピック・パラリンピック競技大会が東京で開催されます。大会期間中は選手や大会関係者、メディア、観光客等、多くの人が東京を訪れるため、何も対策をしないと道路や公共交通機関の深刻な混雑が発生する恐れがあります。

大会期間中、何も交通対策を行わなかった場合…

首都高の渋滞は約２倍に悪化

１日あたり道路を走る車が約５～６万台ほど増加

鉄道利用者が約１割増加

１日あたり約80万人の観客等が鉄道を利用

＜2020年カレンダー＞

オリンピック：7月24日～8月9日　パラリンピック：8月25日～9月6日

日	月	火	水	木	金	土
7/19	20	21	22	23 海の日	開会式 24 スポーツの日	25 自転車競技
26 自転車競技	27 トライアスロン	28 トライアスロン	29	30	31 競歩	8/1 トライアスロン
2 マラソン	3	4	5	6	7 競歩	8 競歩
9 閉会式 マラソン	10 山の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25 開会式	26	27	28	29 トライアスロン
30 トライアスロン	31	9/1	2	3	4	5
6 閉会式 マラソン	7	8	9	10	11	12

例年お盆前で物量が増える時期

交通対策が特に必要な期間

大会で使用した器機などを各国に返送

路上競技の開催日

対策や事前準備を行わないと、人やモノの移動が影響を受けるなど「遅延」のリスクが高まる可能性があります

例えば…

- 部品等の搬入が遅れる
- スーパーやコンビニ等に商品が届かない
- 宅配便が時間通りに届かない
- 保守、点検にエンジニアが間に合わない
- ATMの現金切れ
- 始業時間や商談・打合せの時刻に間に合わない　等

このようなリスクを回避し、大会期間中も安定した経済活動を継続していくためには、事前の準備が大切です！

企業の皆さまへのお願い
「2020TDM推進プロジェクト」にまずはご登録ください!

ご登録いただくと、東京オリンピック・パラリンピック大会期間中の交通情報を、メールマガジン等にていちはやくご提供します!

※登録による費用や義務等は一切発生いたしません。　※部署ごとのご登録も可能です。

2020TDM推進プロジェクトとは

東京都･内閣官房･東京2020組織委員会が事務局となり東京2020大会の円滑な大会運営/輸送の実現と、経済活動の維持との両立を図るため、交通需要を抑制する取り組みです。

登録のメリット

- コンサルタント等による個別相談対応
- セミナー・説明会の案内
- 東京2020大会に向けた取組への賛同者としてHPに企業名掲載
- 大会輸送影響度マップの更新情報をお知らせ

スムーズビズ Smooth Biz

東京都は、快適な通勤環境や企業の生産性の向上を図る新しいワークスタイルや企業活動の東京モデルを「スムーズビズ」とし、2020大会の交通混雑緩和に向けた交通需要マネジメント（TDM）とテレワーク、時差Bizなどの取組を一体的に推進しています。
「2020TDM推進プロジェクト」にご登録頂いた企業等の皆さまは、特にお申し出のない限り「スムーズビズ」にもご賛同頂いたものと取り扱わせて頂きます。

登録はこちら　2020TDM　検索　https://2020tdm.tokyo/

裏面もご確認ください→

事前準備チェックリスト

大会期間中に自社がどのような取り組みを行っていくべきか、まずはチェックリストで確認してみましょう。

CHECK1 自社への影響度を確認する

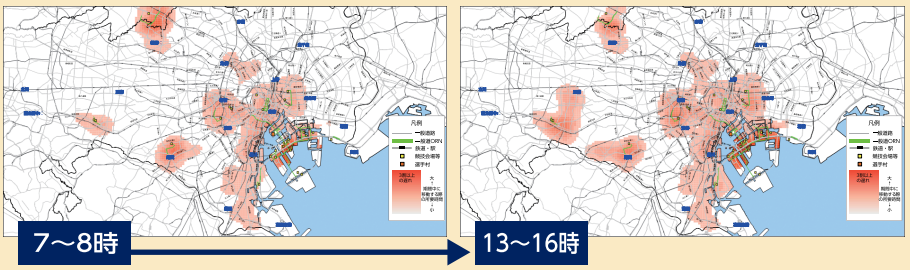
該当する項目にチェックを入れてみましょう

- □ 競技会場の近くに事業所/取引先がある
- □ 高速道路を利用する
- □ 昼間の車利用が多い
- □ 宅配便をよく使う
- □ 輸出入を伴う事業を行っている
- □ 臨海部からの納品がある
- □ よく使うルートが大会の影響を受けるエリアを通る

参考 大会輸送影響度マップ

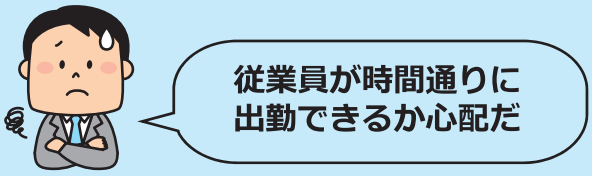
2020TDM推進プロジェクトでは、大会期間中に何も対策を行わなかった場合の、一般・高速道路や鉄道、競技会場周辺道路等に生じる影響についてまとめた混雑予想マップを公表しています。
自社への影響度を確認する際に、ぜひご参考ください。

例　一般道路の混雑状況予想　2020年７月31日



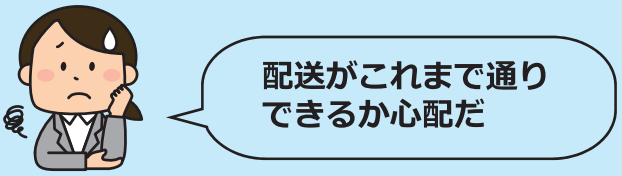
CHECK2 「2020アクションプラン」（大会期間中の行動計画）を作成する

① 想定される課題と対応策を検討する



取り組めそうな項目にチェックを入れてみましょう

- □ 大会期間中の休暇の計画的な取得
- □ 時差出勤の導入
- □ フレックスタイム制の導入
- □ テレワークの導入
- □ 打合せのメール・電話等での代替
- □ 営業時間の変更
- □ 大会期間に合わせた休業
- □ ゴミの削減



取り組めそうな項目にチェックを入れてみましょう

◆ **荷主と話し合う必要があること**
- □ プラス１日のリードタイム
- □ 検品の簡素化
- □ 大会期間中を避けて配送する（事前・事後配送）
- □ 再配達の回数を削減する
- □ 配送・集配時間を変更する

◆ **自社で工夫できること**
- □ 事前に在庫を多く持つ
- □ 混雑地域の回避・迂回
- □ 積載効率のアップ（共同化、帰り荷の確保）
- □ パレット等の規格化

② チェックを入れた項目が「2020アクションプラン」のStep1になります。

Step1.　具体的な取組内容を決定（何をするか、いつからはじめるか）
Step2.　担当部署や担当者を整理
Step3.　実施方法の確認

「2020アクションプラン」の作成にあたっては、東京都の個別相談 / コンサルタントによる対応等の支援制度も活用いただけます

東京都オリンピック・パラリンピック準備局
Bureau of Olympic and Paralympic Games Tokyo 2020 Preparation

＜お問い合わせ･ご意見＞
2020TDM推進プロジェクト運営事務局
Mail:info@2020tdm.tokyo
電話番号：0120-108-030　10：00～12：00、13：00～17：00
（土･日･祝日、年末年始を除く）